



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 鈴与シンワート株式会社  
 コード番号 9360  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

東

URL <http://www.shinwart.co.jp/>

(氏名) 徳田康行

(氏名) 足洗俊之

(TEL) 03-5440-2800

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,193	△1.5	△92	—	△82	—	△68	—
2020年3月期第1四半期	3,240	0.9	△119	—	△110	—	△128	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △62百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △135百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△23.20	—
2020年3月期第1四半期	△43.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	9,945	2,309	23.2	785.06
2020年3月期	10,584	2,408	22.8	818.67

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,309百万円 2020年3月期 2,408百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	2.4	390	20.8	410	11.2	300	86.9	101.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	3,000,000株	2020年3月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	57,970株	2020年3月期	57,950株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	2,942,045株	2020年3月期1Q	2,942,053株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするために、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等の影響により景気が急速に悪化し厳しい状況となりました。拡大防止緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大懸念や収束時期が見通せないことにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は31億93百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業損失は92百万円（前年同四半期は1億19百万円の損失）、経常損失は82百万円（前年同四半期は1億10百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円（前年同四半期は1億28百万円の損失）となりました。

なお、当社グループへの新型コロナウイルス感染症による影響は、営業活動の制約や一部の案件において中断や延期等があったものの、当第1四半期連結累計期間におきましては業績への影響は軽微でありました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①情報サービス事業

売上高は、前事業年度に引続きソフトウェア受託開発から、人事・給与・就業・会計等の業務を中心としたパッケージソリューションサービス及びデジタルビジネスソリューションにリソースを含め注力領域をシフトさせており、若干の減収となりました。

以上の結果、売上高は23億98百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

セグメント利益は、ソフトウェア受託開発においてリソース減による売上減のインパクトを生産性向上や高付加価値化で利益を確保するとともに、パッケージソリューションサービスにおける増収効果もあり、増益を確保できました。

以上の結果、セグメント利益は1億33百万円（前年同四半期比73.1%増）となりました。

なお、情報サービス事業における新型コロナウイルス感染症の影響については、事業活動の停止等の直接的な影響は生じておらず、これに伴う中期計画の主要課題の変更や新たな課題の設定は行っておりません。ただし、当該事業の業績は、顧客のIT投資等の動向の影響を受けることから、顧客の新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるIT投資増減によっても変動が生じますが、その変動は顧客事情により大きく相違があり、提出日現在において情報収集を継続しております。

#### ②物流事業

売上高は、倉庫事業については、食料品等の貨物の荷動きが停滞したものの、荷役作業を伴うスポット貨物の獲得によって若干の減収となりました。港運事業では、建材埠頭での既存荷主の取扱数量が減少したことにより、減収となりました。陸運事業では、小麦粉輸送の貨物量が増加しましたが、セメント輸送の減少などが響き前年並みとなりました。

以上の結果、売上高は7億95百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

セグメント利益は、倉庫事業については、利益率の良いスポット作業の取込により、増益となりました。港運事業では、荷動きが鈍化したことにより減益となりました。陸運事業では、自社車両の稼働率が増えたことに加え、受託作業等を確保した結果、増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は1億37百万円（前年同四半期比74.8%増）となりました。

なお、物流事業における新型コロナウイルス感染症の影響についても、事業活動の停止等の直接的な影響は生じておらず、これに伴う中期計画の主要課題の変更や新たな課題の設定は行っておりません。ただし、陸運事業において主要なセメント輸送需要は、大手ゼネコンを始めとした建設会社の建設工期の動向の影響を受けることから、建設会社の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による建設工期の変動によっても影響が生じますが、その影響は建設会社により大きく相違があり、提出日現在において情報収集を継続しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7億28百万円減少し、33億61百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少31百万円と受取手形及び売掛金の減少8億71百万円、仕掛品の増加1億44百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、65億82百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少43百万円と投資有価証券の増加1億12百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6億39百万円減少し、99億45百万円となりました。

### (ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億62百万円減少し、34億79百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少1億30百万円と短期借入金の減少2億50百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億77百万円減少し、41億56百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少2億73百万円によるものであります。

### (ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し、23億9百万円となりました。これは主として、剰余金の配当と親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少1億5百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算出することが困難なことからこれまで未定としておりましたが、本資料の作成現在において入手可能な情報や予測等に基づき検討した結果、当社グループ業績に与える影響は限定的と予想し公表いたしました。従いまして、今後の様々な環境変化によって実際の業績は、予想値と大きく異なる可能性があります。

業績予想につきましては、サマリー情報の「3.2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,330	1,299
受取手形及び売掛金	2,370	1,498
仕掛品	191	336
その他	199	227
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	4,089	3,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,156	1,112
土地	2,489	2,489
その他（純額）	1,028	991
有形固定資産合計	4,674	4,593
無形固定資産		
投資その他の資産	305	304
投資有価証券	470	583
繰延税金資産	783	846
その他	277	272
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,513	1,684
固定資産合計	6,493	6,582
繰延資産	1	1
資産合計	10,584	9,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	752	621
短期借入金	1,560	1,310
リース債務	164	157
未払法人税等	172	65
賞与引当金	484	726
受注損失引当金	1	2
その他	606	596
流動負債合計	3,741	3,479
固定負債		
社債	90	90
長期借入金	1,773	1,500
リース債務	349	338
再評価に係る繰延税金負債	171	171
役員退職慰労引当金	23	21
退職給付に係る負債	1,928	1,939
その他	97	95
固定負債合計	4,434	4,156
負債合計	8,176	7,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	802	802
資本剰余金	162	162
利益剰余金	1,241	1,136
自己株式	△37	△37
株主資本合計	2,168	2,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	31
土地再評価差額金	214	214
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	239	245
純資産合計	2,408	2,309
負債純資産合計	10,584	9,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,240	3,193
売上原価	2,860	2,730
売上総利益	379	462
販売費及び一般管理費	499	554
営業損失(△)	△119	△92
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	1
持分法による投資利益	5	5
経営指導料	4	4
受取賃貸料	4	4
その他	1	4
営業外収益合計	20	21
営業外費用		
支払利息	10	10
その他	1	1
営業外費用合計	11	11
経常損失(△)	△110	△82
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△111	△82
法人税等	16	△14
四半期純損失(△)	△128	△68
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128	△68

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△128	△68
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	5
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△7	6
四半期包括利益	△135	△62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△135	△62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,443	797	3,240	—	3,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	2	△2	—
計	2,443	798	3,242	△2	3,240
セグメント利益又は損失(△)	77	78	155	△275	△119

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△275百万円は、セグメント間取引消去△0百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△274百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,398	795	3,193	—	3,193
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	2	△2	—
計	2,398	797	3,195	△2	3,193
セグメント利益又は損失(△)	133	137	271	△363	△92

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△363百万円は、セグメント間取引消去5百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△367百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。